

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2013-515348(P2013-515348A)

【公表日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2012-546111(P2012-546111)

【国際特許分類】

H 01 M 8/02 (2006.01)

H 01 M 8/10 (2006.01)

【F I】

H 01 M 8/02 S

H 01 M 8/02 E

H 01 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月26日(2013.11.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

燃料電池のロール品サブアセンブリであって、

各々が中心領域を備える、複数の個別の電解質膜と、

前記個別の電解質膜に取り付けられる1つ以上の第1のサブガスケットであって、前記第1のサブガスケットの各々が少なくとも1つの開口部を有し、前記第1のサブガスケットは、前記個別の電解質膜の前記中心領域が前記第1のサブガスケットの開口部を通って露出されるように構成される、第1のサブガスケットと、

複数の開口部を有するウェブを備える第2のサブガスケットであって、前記第2のサブガスケットのウェブが、前記個別の電解質膜の中心領域が前記第2のサブガスケットのウェブの開口部を通って露出されるように構成される、第2のサブガスケットと、を備え、

前記電解質膜のうちの少なくとも幾つかが、触媒コーティングされた電解質膜であり、該触媒コーティングされた電解質膜は、第1の触媒と、第2の触媒と、前記第1の触媒及び第2の触媒がそれぞれ配置される互いに略反対側の第1の主面及び第2の主面を備えた電解質膜と、を有し、前記電解質膜の少なくとも1つの、互いに略反対側の第1の端部及び第2の端部と、第1の触媒と、第2の触媒とが互いに整合配置され、

前記1つ以上の第1のサブガスケットの各々が、前記電解質膜に向かって方向付けられる第1のサブガスケット表面を有する第1のサブガスケット層を備え、前記第1のサブガスケットが、前記第1のサブガスケット表面上に配置される第1の接着層を有し、

前記第2のサブガスケットが、前記電解質膜に向かって方向付けられる第2のサブガスケット表面を有する第2のサブガスケット層を備え、第2の接着層が、前記第2のサブガスケット表面の相当部分上には配置されず、

前記第1のサブガスケットの各々の前記第1の接着層が、前記第2のサブガスケット表面に取り付けられる、燃料電池のロール品サブアセンブリ。